

令和6年能登半島地震における 愛媛JRATの活動

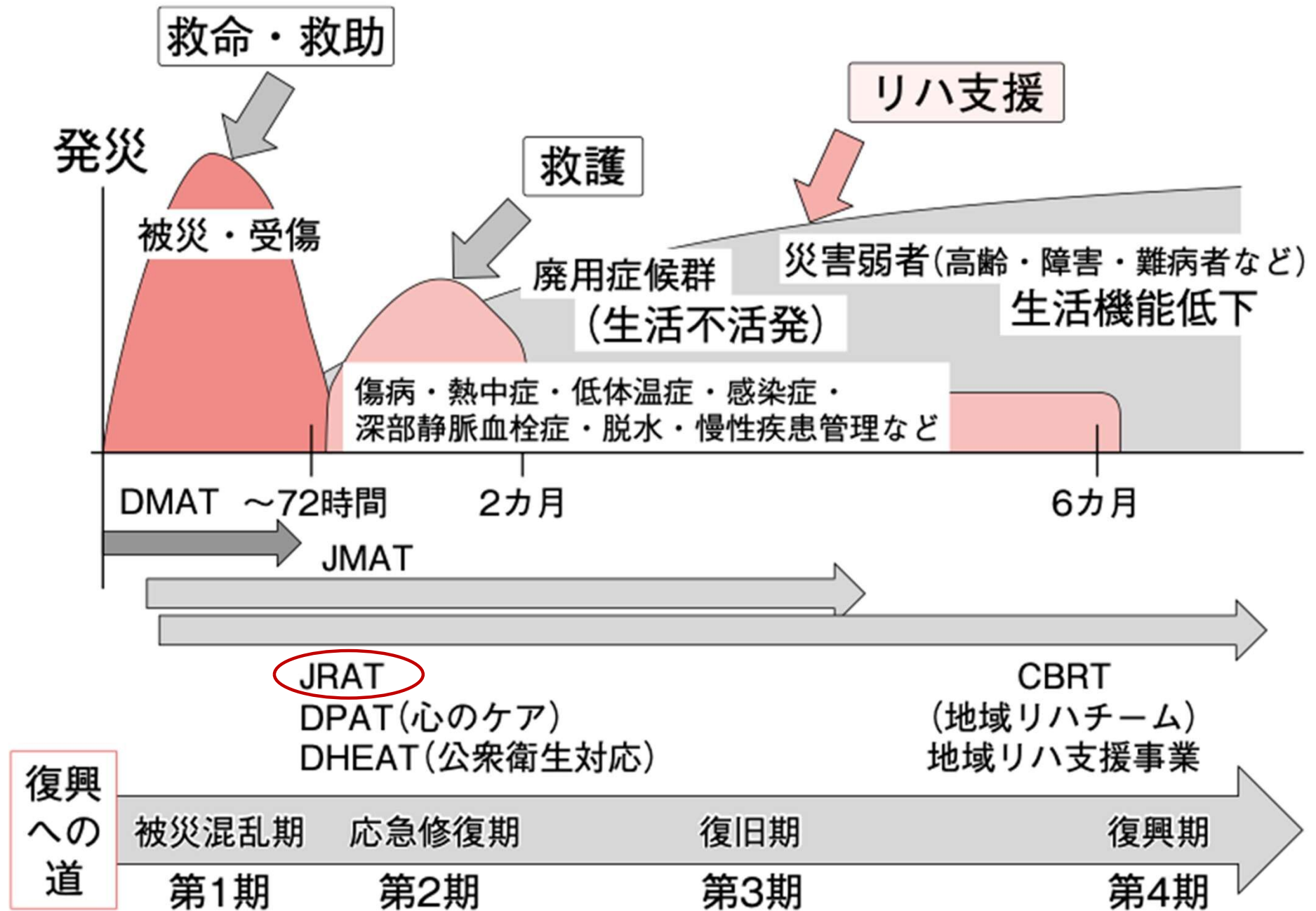


(一社) 愛媛県災害リハビリテーション支援協会
愛媛県災害時要配慮者支援チーム
四国中央保健所圏域コーディネーター
横内 俊弘 (石川クリニック 理学療法士)

災害リハビリテーションの定義

災害リハビリテーションとは、災害に伴う被災者・要配慮者の災害関連死や生活不活発等を防ぐために、リハビリテーションの視点から関連専門職が組織的に支援を展開することで、早期自立・復興を支援する活動の全てを言う（2019.4 JRAT）

災害リハの位置づけ



JRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team)

災害リハビリテーション支援チーム

発災後に起こりえる生活不活発病などを予防し，被災者（特に高齢者，障がい児・者，難病者，妊婦，乳幼児などの要配慮者など）および被災地リハ関連施設やネットワークなどの早期自立・再建，さらには早期復興を目指して，リハ関連職種が組織的なリハ支援活動を実施する。

主な活動内容

リハ・トリアージ、要配慮者アセスメント、避難所環境アセスメント、避難所環境整備、生活不活発病対策等

主な職種

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、医師、看護師等

一般社団法人愛媛県災害リハビリテーション 支援協会（愛媛JRAT）

加盟団体（13団体）

2014年3月30日設立

- 愛媛県リハビリテーション研究会
- 愛媛県回復期リハビリテーション連絡協議会
- 公益社団法人愛媛県理学療法士会
- 公益社団法人愛媛県作業療法士会
- 一般社団法人愛媛県言語聴覚士会
- 一般社団法人愛媛県介護福祉士会
- 一般社団法人愛媛県社会福祉士会
- 愛媛県医療ソーシャルワーカー協会
- 一般社団法人愛媛県介護支援専門員協会
- 公益社団法人愛媛県看護協会
- 一般社団法人愛媛県訪問看護協議会
- 一般社団法人愛媛県歯科医師会
- 一般社団法人愛媛県歯科衛生士会

愛媛JRATの活動方針

愛媛県医師会（医療チーム）の協力の下に、
発災直後の救命救急に引き続き、
できるだけ早期にリハビリテーションによる
生活支援等をリハ関連職が連携して実施し、
生活不活発病等の災害関連死を防ぐとともに、
生活再建に向けた活動を行う。

愛媛県災害リハビリテーション 連携マニュアル(第5版)より

愛媛県医師会との連携

愛媛県との災害協定締結

2016（平成28）年2月14日

愛媛JRATは、県から災害リハビリテーション支援活動に関し協力要請があった場合は、災害リハビリテーション支援チームを編成、派遣し、県が指示する場所において災害リハビリテーション支援活動を実施する。



DWAT (Disaster Welfare Assistance Team)

災害派遣福祉チーム

災害発生直後に避難所、福祉避難所などで被災者（特に要配慮者）に対して応急的な介護や生活相談などの福祉的支援活動を行う。

主な活動内容

避難者の受付、受付時のアセスメント、避難者の健康管理、避難所内なんでも相談ブースでの対応、その他災害支援チームと連携した対応

主な職種

介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員、保育士等

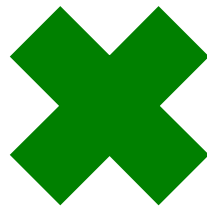
愛媛県災害時要配慮者支援チーム

要配慮者（高齢者、障がい児・者、難病者、妊産婦、乳幼児など）の災害関連死を防ぎ、生活再建を支援することを目的として、医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、社会福祉士、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員等の各分野で専門的知識を持った多職種がチームを組んで対応を行う愛媛県が独自に組織した公的な災害時支援チームを設立
（平成30年度設立）

愛媛県災害時要配慮者支援チームとは

JRAT (Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team)

災害リハビリテーション支援チーム



DWAT (Disaster Welfare Assistance Team)

災害派遣福祉チーム

事務局：愛媛JRAT、愛媛県社会福祉協議会 愛媛県担当課：愛媛県保健福祉部保健福祉課

平時の取り組み

- 愛媛県災害リハビリテーション連携マニュアルの作成
- 地元行政（特に保健師）や一般住民に認知頂くことを目的として県・市町総合防災訓練に積極的に参加・協力を行う。
- 研修会への積極的な参加・協力

愛媛県災害リハビリテーション連携マニュアル

令和6年度災害時福祉支援地域連携事業

初版：2016年2月
第2版：2018年2月
第3版：2019年8月
第4版：2022年10月
第5版：2024年9月

愛媛県災害リハビリテーション 連携マニュアル（第5版）

私たちは大規模災害に備え、リハビリテーション支援チームの育成・組織化・ネットワークの構築、災害医療チームとの連携を推進していきます。

大規模災害時には、愛媛県医師会（医療チーム）の協力の下に、発災直後の救命救急に引き続き、できるだけ早期にリハビリテーションによる生活支援等をリハ関連職が連携して実施し、生活不活発病等の災害関連死を防ぐとともに、生活再建に向けた活動を行います。

一般社団法人愛媛県災害リハビリテーション支援協会（愛媛 JRAT）

加盟団体

- 愛媛県リハビリテーション研究会
- 愛媛県回復期リハビリテーション連絡協議会
- 公益社団法人愛媛県理学療法士会
- 公益社団法人愛媛県作業療法士会
- 一般社団法人愛媛県言語聴覚士会
- 一般社団法人愛媛県介護福祉士会
- 一般社団法人愛媛県社会福祉士会
- 愛媛県医療ソーシャルワーカー協会
- 一般社団法人愛媛県介護支援専門員協会
- 公益社団法人愛媛県看護協会
- 一般社団法人愛媛県訪問看護協議会
- 一般社団法人愛媛県歯科医師会
- 一般社団法人愛媛県歯科衛生士会

第1章 大規模災害時における
リハビリテーション支援活動の
目的と連携の重要性

第2章 災害時における活動内容

第3章 災害時に活動を行う際の心構え

資料

愛媛県災害時要配慮者支援チーム
マニュアル総論編
マニュアル活動編

自分たちの役割の明確化！

令和5年度愛媛県総合防災訓練

日時：令和5年8月26日、会場：上浮穴高校体育館



避難所アセスメントを実施



保健師と協働して、要配慮者への
アセスメントやトリアージを実施



なんでも相談ブースの設置
(一般市民から寄せられる相談に社会福祉士が対応)



保健師チームとの合同ミーティング



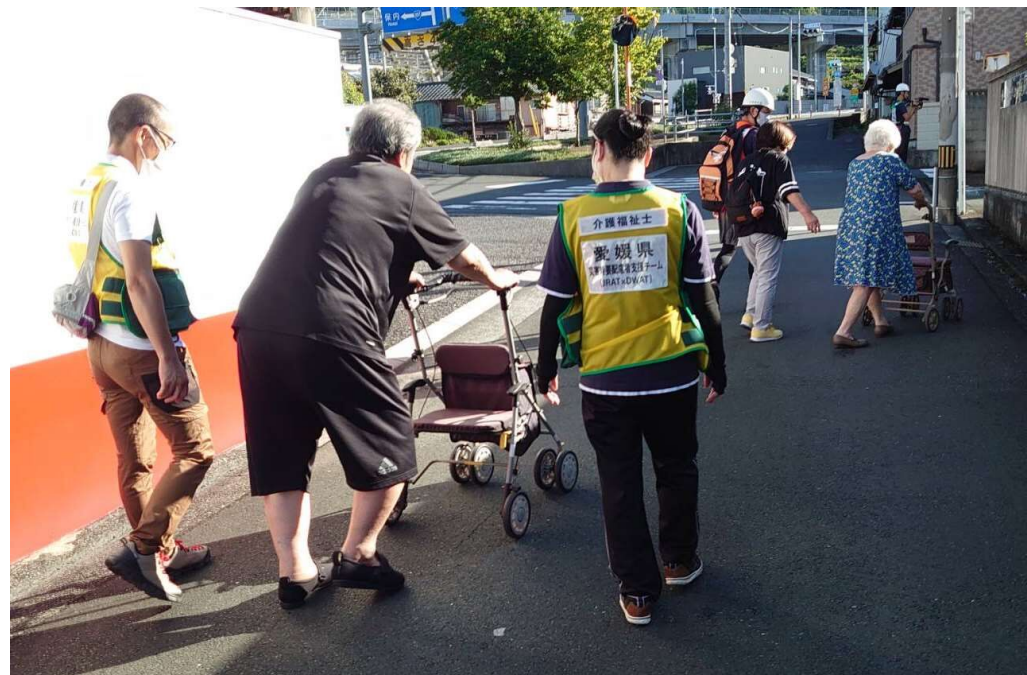
避難所運営担当者を対象とした講話
演題名「災害関連死を防ぐための留意点」

令和5年度八幡浜市総合防災訓練

日時：令和5年8月27日、会場：大平自治公民館



要配慮者と支援者が自宅から
一時避難場所への移送支援、
避難経路の確認



一般住民を対象
とした講話



地域住民や自治体担当者の要望
に応じて活動内容を調整して実施

一般市民を対象とした講話
演題名「災害関連死を防ぐために
～避難所でもできる体操～」

自治会や自主防災組織と要配慮者
の個別避難計画に関する意見交換



令和6年度は原子力防災訓練、松山市、久万高原町、愛南町の総合防災訓練に参加協力を行う

愛媛県災害時要配慮者支援チームの認知度向上に向けて

日時 令和5年6月24日(土)13時から15時30分
テーマ 災害関連死を防ぐために注意すること
会場 宇和島市役所2階大会議室
対象 行政職員、避難所運営に関わる方、自主防災組織

愛媛 NEWS WEB

西日本豪雨の被災地で避難生活の備え学ぶ

06月25日 09時24分



来月で、西日本豪雨から5年です。被災地となった宇和島市では、災害時の避難生活への備えを学ぶ講座が開かれました。

この講座は、宇和島市のNPOセンターが開催し、およそ60人が参加しました。

講座には、理学療法士や作業療法士などが講師として招かれ、はじめに長期化する避難所生活による災害関連死のリスクについて説明されました。

このなかで、長時間、同じ姿勢でいることなどで「エコノミークラス症候群」が懸念されるとしたうえで、足首を回すなど簡単にできる予防方法が紹介されました。

このあと組み立て式トイレの体験会が開かれ、参加者たちは段ボールや発泡スチロールなど素材の異なる3種類を使って、耐えられる体重や組み立てやすさなどを確認していました。

参加者の1人は、「エコノミークラス症候群の予防のための体操などは簡単にできることなど思うので、ふだんから行って災害時に備えておきたいです」と話していました。



災害時におけるトイレ環境を考えるワークショップを実施

愛媛JRAT災害支援活動実績

平成28年熊本地震

- ・派遣チーム数: 1チーム
- ・派遣者総数: 3名(理学療法士3名、うち1名は本部要員として派遣)

平成30年7月豪雨

- ・派遣チーム数: 16チーム
- ・派遣者総数: 56名(医師6名、理学療法士34名、作業療法士7名、言語聴覚士2名
介護福祉士2名、社会福祉士4名、介護支援専門員1名)
- ・支援避難所数: 延48箇所(大洲市・西予市)

令和6年能登半島地震

- ・派遣チーム数: 8チーム
- ・派遣者総数: 28名(医師1名、理学療法士5名、作業療法士4名、言語聴覚士5名
介護福祉士1名、社会福祉士9名、介護支援専門員2名、
管理栄養士1名)
- ・支援地域: 珠洲市、七尾市、輪島市、能登町、金沢市内1.5次避難所

令和6年能登半島地震において派遣された 災害支援チーム出発式の様子



愛媛JRAT第1隊出発式



愛媛DWAT第1隊出発式

【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

- ・活動期間： 2024年2月1日～2月5日
- ・活動場所： 珠洲市内避難所（宿泊拠点：穴水総合病院）
いしかわ総合スポーツセンター

隊員 山本 英一（Dr. 愛媛県立中央病院小児医療センター長）
林田 聡（ST 多機能型重症心身障がい児（者）施設ピッコロ）
福本 圭司（OT 市立宇和島病院）
荒谷 英彦（PT 老人保健施設伊予ヶ丘）

【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

1. 避難所巡回(まずは全数把握)
 - ・避難所の情報収集
 - ・環境アセスメント:TKB(トイレ・キッチン・ベッド)
 - ・要配慮者アセスメント
 - ・ニーズ調査
 - ・新たな要配慮者の抽出 etc.



【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

1. 避難所巡回

- ・珠洲市総合病院のリハスタッフ1名が帯同
各避難所でのJRAT介入の導入が円滑に
- ・トイレカーの階段で転倒されたケース
- ・集落の避難所に
循環式シャワーテント導入(WOTA)
通常2人分の水量(100ℓ)で100人分利用可能



(転載禁止)

【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

2. 保健師チーム依頼による個別介入

①生活不活発の懸念される避難者への対応（避難所）

▶シルバーリハビリ体操

→市内のシルリハ指導士が協力

▶活動と参加

→避難所での居場所づくり・役割

周囲の関わり方（コミュニケーション）

▶運動指導

→個別に・簡単に・みんなで

▶栄養

→避難生活での偏った食事

栄養士会チームとの協働（栄養補助の導入）



（転載禁止）

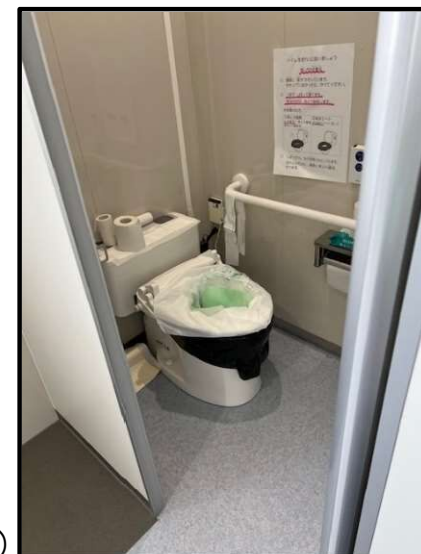


【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

2. 保健師チーム依頼による個別介入

②転倒リスク者への環境アセスメント(避難所) 歩行補助具の選定

- ▶身体機能評価(痛み・動作)
- ▶転倒機序の確認および対応
- ▶トイレ動線の整理や工夫
- ▶歩行器や杖の選定
- ▶運動指導



(転載禁止)

【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

2. 保健師チーム依頼による個別介入

③避難所の環境設定相談(たちあっぷ設置など段差解消)

- ▶避難者や避難所運営者に現状の確認
- ▶該当箇所の寸法計測や写真撮影
- ▶当事者や**避難所責任者への説明と同意**
 - 責任者への交渉
 - 写真でのイメージ化、デモ機の導入



(転載禁止)

【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

2. 保健師チーム依頼による個別介入

④転倒リスク・認知症を抱えるご夫婦への介入相談(避難所)

- ▶生活機能評価(ADL)

- ▶支援者へADL上の注意事項を伝達

- ▶今後の展望への提案

 - 支援者(配膳や服薬支援)がいなくなる予定

 - その後の生活への懸念

 - 避難所責任者・家族・保健師・居宅ケアマネ・JRATで
話合いの場を設けることに

 - (方向性が定まるまで保健師とJRATが継続介入)

【愛媛JRAT第1隊 活動概要】

3. HuMA(NPO災害人道医療支援会)より依頼(特養)

- ▶ライフラインの破綻により適切な食形態を提供できない
→嚥下機能と食形態の妥当性評価(Dr.とST介入)

- ▶栄養士会チームへ相談

→レトルトパックの介護用食品の提供

施設栄養士と栄養士会の連絡窓口を確立

- ▶HuMA(Dr.)にその後の状態確認を依頼
(JRATにSTが常時帯同しているとは限らない)

※PT・OTで歩行状態やADL能力を確認



(転載禁止)

愛媛JRAT派遣隊活動概要

【愛媛JRAT第2隊 活動概要】 2月29日～3月4日

1. 5次避難所であるいしかわ総合スポーツセンターにおいて、避難所環境整備、生活不活発病対策、ミールラウンド(食形態の確認・調整)

【愛媛JRAT第3隊 活動概要】 3月10日～3月14日

珠洲市内避難所において避難所環境整備、生活不活発病対策

【愛媛JRAT第4隊 活動概要】 3月16日～3月20日

能登町内避難所、輪島市内避難所において避難所環境整備、生活不活発病対策

大規模災害時において被災者・要配慮者の災害関連死を防ぎ、生活再建に向けた多様なニーズに対応するためには・・・

自分たちだけで対応しない
関連職種がチームを組んで対応していく



多職種協働・連携が重要

愛媛県災害時要配慮者支援チーム登録者数

備考:登録票の最初に記載されている資格を記載

233名(2024年10月31日時点)

愛媛県全域 233名

Dr5名、歯科医師5名、Nrs20名、PT54名、OT25名、ST14名
CW36名、SW40名、CM13名、DH4名、精神保健福祉士3名、
保育士2名、管理栄養士1名、薬剤師4名、その他7名

今治保健所圏域 39名

Dr2名 歯科医師1名 Nrs4名 PT11名 OT4名 ST2名
CW5名 SW7名、CM1名、保育士1名、薬剤師1名

四国中央保健所圏域 7名

歯科医師1名、Nrs1名、PT2名、OT2名、CM1名

松山市保健所圏域 76名

Dr1名、歯科医師1名、Nrs5名、PT15名 OT9名 ST4名、
CW13名、SW20名、CM3名、DH1名、精神保健福祉士1名
管理栄養士1名、 小児慢性特定疾病等自立支援員1名、
薬剤師1名

八幡浜保健所圏域 26名

歯科医師1名 Nrs 2名、PT 5名、OT 4名 ST2名
CW7名、SW4名、防災士1名

西条保健所圏域 38名

Dr 1名 Nrs4名 PT8名 OT 2名 ST 5名
CW 4名 SW 2名 CM 5名 精神保健福祉士2名 保育士1名
薬剤師2名、臨床検査技師1名、実務者研修修了1名

中予保健所圏域 33名

Dr1名 Nrs3名 PT9名 OT3名 ST1名
CW6名、SW5名、CM3名、健康運動指導士1名
サービス管理責任者1名

宇和島保健所圏域 14名

歯科医師 1 名、Nrs1名 PT4名 OT1名、
CW2名 SW2名、DH3名

Dr:医師、Nrs:看護師、PT:理学療法士、OT:作業療法士
ST:言語聴覚士、CW:介護福祉士、SW:社会福祉士
CM:介護支援専門員、DH:歯科衛生士

四国中央保健所圏域 チーム員登録者数7名

令和7年度愛媛県災害時要配慮者支援チーム員養成基礎研修会
(愛媛JRAT登録研修会)を四国中央市で開催予定